

令和３年度 第１回碧南市民病院運営審議会 議事録

1 日時

令和３年７月５日（月）午後１時３０分から午後２時３０分まで

2 場所

市民病院２階 多目的研修室

3 出席者（委員）１６名（順不同）

生田譲委員（会長）、長田和久委員、茂木仁志委員、齋藤英延委員（副会長）、奥村晋平委員、鈴木並生委員、三島孝二委員、杉浦功一郎委員、山中寛紀委員、杉浦邦俊委員、三島博委員、神谷葉子委員、長田千月委員、神谷悟志委員、鈴木玲子委員、對馬幸司委員

4 欠席者（委員）２名

杉浦晴太郎委員、森田英治委員

5 出席者（病院側）８名（事務局担当含まず）

禰宜田市長、亀岡病院長、遠山経営管理部長、伊藤医事経営課長、山田管理課長、山端訪問看護ステーション看護師長、野村医事経営課企画推進係長、鈴木医事経営課医事係長

6 傍聴者

０名（報道関係者１名）

7 内容

(1) 会議の成立について

遠山経営管理部長から本日の出席者は１６名で、委員の過半数を超えたため、本日の会議は成立した旨の宣言があった。

(2) 傍聴者について

会議の公開に伴う傍聴者について、遠山経営管理部長から、本日は傍聴者がおられません、報道関係の方がみえている旨報告があった。

(3) 禰宜田市長あいさつ

みなさん、こんにちは。お忙しいなかをお越しいただきましてありがとうございます。本日の市民病院運営審議会は、令和２年度決算、中期経営計画、訪問看護ステーションの令和２年度事業実績と３議題あります。新型コロナウイルス感染症のワクチ

ン接種は、皆さまのご協力もありまして、碧南市人口の約20%の方が1回目のワクチン接種ができている状況で、西三河においては、安城市に次いで2番目に高い接種率であります。市民病院の方々におかれましては、集団接種、個別接種とワクチン接種に対してご尽力いただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染症で大変な現状であったのですが、国や県から補助金をもらうことができて、最終的には前年度よりも赤字が2億数千万円ほど改善できました。また、借入金も普段では借りることのできない金額を借りることができ、資金繰り的には大変助かりました。詳細な内容については、この後の議題のなかで報告があるかと思いますのでご審議の程お願いいたします。

(4) 会長の指名

遠山経営管理部長から碧南市病院事業の設置等に関する条例第5条の規定に基づき、過日、生田譲委員が、市長から任命された旨報告された。

(5) 会長あいさつ

みなさん、こんにちは。お忙しいなか、また、暑いなかをお集りいただきましてありがとうございます。碧南市民病院の先生方におかれましては、日頃より医師会からの患者を快く受けていただきましてお礼申し上げます。碧南市の休日診療所では、例年は3,000名程の方が受診されていますが、昨年度は400名程でした。日平均にすると6名程度であり、誰も来ない日も何日かはありました。新型コロナウイルス感染症による受診を敬遠された結果と思われますが、この場を借りてご報告させていただきます。もう1つは、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種であります。5月中旬から医師会も各医療機関でワクチン接種を開始しており、6月中旬から土曜日、日曜日の午前や午後を利用して、碧南市民病院で集団接種ということで250名前後を接種しております。医師を市民病院から1名、医師会から2名の3名体制、薬剤師会や看護師会からの協力も得て実施しております。本日は、先で市長も話されたとおり、議題が3議題ございますので審議の程お願いいたします。

(6) 副会長の指名

碧南市病院事業の設置等に関する条例第5条第2項の規定に基づき、会長から碧南歯科医師会会長の齋藤英延委員が任命された。

(7) 亀岡病院長あいさつ

みなさま、こんにちは。碧南市民病院病院長の亀岡でございます。本日はお暑い中お集りいただきありがとうございます。また日頃より市民病院の運営にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。本日は昨年度の決算についてご報告しご審議いただく予定です。昨年度は4月の新型コロナウイルス感染症院内発生に伴う診療制限で大きく患者数を減らし、経営的には非常に厳しい状態となっております。当院では院内発生の経験を生かし、その後の感染対策に取り組んでまいりました。感染制御しつつ、病院の機能を維持し回復に向けて努力しております。また、春から始まったワクチン接種については、市の健康推進部、健康課及び碧南市医師会と協力し、市民病院は市の組織の一員として、積極的にワクチン接種の実施に従事しております。医療従事者への優先接種は、市民病院が主体となり、当院を会場として、運営は院内各部署で協力して行っておりまいた。その後、始まった高齢者への集団接種についても会場を提供し、人員も配置して協力しています。また、当院かかりつけの患者さんへの個別接種も一週間に200名を実施しております。医師確保については苦戦しています。特に内科系医師は定年や転勤での退職後の補充が得られず、減少傾向にあります。大学医局と交渉していますが、医師が少ない病院に派遣しても負担が多く勤務条件が悪くなる、専門医としても活躍できない、という理由で、碧南にはなかなか送る人がいないという話をよくききます。西尾市民病院との合併がなくなったことも、大学医局からみればマイナス要因となります。一緒にならないのであれば、西尾へ、ということで、内科、脳神経外科、産婦人科からは当院ではなく西尾市民病院へ医師が増員されています。しかし、当院は、耳鼻いんこう科はプラス1、口腔外科はプラス3など医師が増加している診療科もあります。研修医についても、定員が今年度4名から来年度5名に増員されます。他の病院からの異動を含めて現在は、一年次6名、二年次4名が研修しております。今後この若者が当院に残り活躍してくれることを期待しています。今年度は病棟改修計画の設計が終わり、工事に入ります。完成後は病床を255床に減少し、医療の質を下げることなく、コンパクトで効率的な運営を図ってまいります。本日はご審議よろしくお願い申し上げます。

(8) 新任委員の紹介

遠山経営管理部長から「碧南市民病院運営審議会名簿」に基づき4名の新任委員を紹介（碧南歯科医師会会長 齋藤英延委員、碧南市連絡委員幹事会代表 杉浦功

一郎委員、碧南市老人クラブ連合会会長 三島博委員、碧南市保育所父母の会連絡協議会会長 長田千月委員）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、副院長などの出席を控えさせていただいておりますのでご了承願います。

(9) 議題

ア 令和２年度碧南市病院事業について

伊藤医事経営課長から「令和２年度碧南市病院事業報告書」（参考資料１）、「令和２年度患者状況総括表」（参考資料２）、「令和２年度病院事業決算対比」（参考資料３）、「中期経営計画の数値目標の達成率」（参考資料４）に基づき説明を行った。

(生田議会議長)

説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いします。

(委員①)

新型コロナウイルス感染症の影響が大きいとは思われますが、このままの経営状況であると市民病院がなくなってしまうことも考えられる。なにか手立てや対策となることはあるのでしょうか。お聞かせ願いたい。

(伊藤医事経営課長)

経営状況を昨年度と比較すると２億数千万円は改善しています。私たちができることはやるべきことをコツコツとやっていくしかないかと思っています。

(亀岡病院長)

現状を報告しますと、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のために６０床ほど休床しています。要するにその病床は現実で使えない状況です。更に病棟改工事が進むと、入院患者の受入に制限を設けるため、経営状況的には更に厳しくなるかと思われます。工事が完了すると入院患者の居住環境整備が整うことと効率的な病棟運営ができることから、経営状況は改善できるのではないかと考えられます。また、患者数を増やすことも重要であるが、費用や経費を抑えることも現在取り組み始めており、支出側からも改善を見込んでおります。将来的には、中期経営計画を基盤とした、長期・中期・短期的な経営計画を見直すことで総体的な経営改善を図っていきたいと考えています。

(生田議会議長)

他にご質問やご意見のある委員の方はおられますか。それでは、次の議題にう

つります。

イ 令和２年度碧南市民病院中期経営計画アクションプランの実施状況について
伊藤医事経営課長から「令和２年度アクションプランの実績報告」（参考資料４）に基づき説明を行った。

（生田議会長）

説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いします。

（委員②）

先ほどの亀岡病院長のあいさつのなかで、規模が小さい医療機関に医師の派遣が難しい現状という話がありましたが、医師不足は深刻な問題であり、将来的な医師の確保、また、碧南市民病院を残していくためには何をしたらよいのですか。どのようにお考えなのかお聞かせ願います。

（亀岡病院長）

当院は、大学の医局から医師の派遣をしてもらっています。民間の医療機関などでは、公募で全国から医師を募集したりしている医療機関もあります。大学の医局から医師の派遣を依頼しているのは、医師の質や教育が担保されていることが大きい。医師の専門医制度もあり、規模の大きな医療機関や患者が多く受診する医療機関の方が専門医や症例も多く、大学から医師が派遣されやすいのも現状です。ただ、医師の質向上や教育制度の確保することを考えると、全国から公募で医師を募集することを今は考えておりません。

（生田議会長）

その他にご質問やご意見のある委員の方はおられますか。それでは、次の議題にうつります。

ウ 令和２年度訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所事業について

伊藤医事経営課長から「令和２年度訪問看護ステーション事業実績」及び「令和２年度碧南市居宅介護支援事業所事業実績」（別紙資料）に基づき説明を行った。

（生田議会長）

説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いします。では、ご質問もないようですので、次にその他事項に移ります。その他の事項で何かございましたら説明をお願いします。

（山田管理課長）

病棟施設改修の進捗状況と今後の予定について報告させていただきます。病床利用率、人員配置、病床数を根拠として見直しを行うと共に、入院患者の居住スペースの確保及び職員の働きやすい環境整備を目的に病棟改修を行います。具体的には総病床数を64床減らして255病床に変更すること、7病棟を5病棟に変更すること、トイレを現状よりも広いスペースで確保すること、5階西の包括病床を除いた、他の病棟の4人床を3人床に変更することで居住スペースを改善すること、ナースコーナーを統合し、職員の利便性の良いスペースの確保を目的とします。また、病棟の内装を張り替え、照明をLEDにすることでリニューアルを図ります。病棟改修実施設計は、感染防止対策を含める方向で8月31日まで修正設計する予定です。今後は、11月に病棟改修工事の業者選定を実施し、令和4年1月から工事に着工する予定です。新型コロナウイルス感染症の影響で工期が変更することもありますのでご了承願います。簡単ではありますが報告とさせていただきます。

(生田譲会長)

この件についてご質問やご意見のある委員の方はおられますか。それでは、その他に何かございますでしょうか。

(伊藤医事経営課長)

新型コロナウイルス感染症のPCR検査等の実施状況と医療従事者への新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の状況を報告させていただきます。新型コロナウイルス感染症の判断検査については、PCR検査のほか、ランプ法と抗原検査があります。検査検体はすべて当院で採取しております。昨年4月から本年5月までのPCR検査の実施検査件数は1,696件、ランプ法検査は722件、抗原検査は昨年12月からの実施で、1,082件を実施しております。すべての実施検査件数の合計は3,500件であります。うち、陽性判定者は160名で、実施検査件数の4.6%となります。衣浦東部保健所から要請される行政検査の検体採取は98件を実施、発熱外来は、西玄関の仮設ハウスと公用車車庫により検体採取や問診などを実施しています。受診者数は波がありますが、月に100名から300名程度の方が受診しています。続きまして、新型コロナウイルス感染症の医療従事者へのワクチン接種の状況について報告させていただきます。3月13日(土)から6月5日(土)まで計11回、2,815回、約1,400

名に対して実施しました。現在、市民病院で実施している高齢者に対する集団接種、今後実施予定の一般の方への集団接種のシュミレーションの場としても成りえました。試行錯誤の結果で、現在のスムーズな運用が成し得たのではないかと考えます。

(生田議会議長)

ご質問やご意見のある委員の方はおられますか。ご質問なども無いようですので、以上で本日の議題は終了いたします。進行を事務局にお返しします。

(遠山経営管理部長)

会長ありがとうございました。本日は多くの審議をいただきましてありがとうございました。次回の運営審議会の開催は、令和4年2月7日、月曜日の午後1時30分からの開催を予定しておりますので、よろしくお願い致します。これを持ちまして、令和3年度第1回碧南市民病院運営審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(全ての予定を終了)